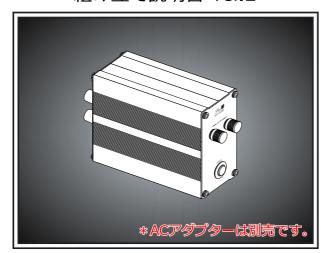
Pure

Digital MINI Amplifier

ワンダーピュア・デジタルミニアンプ組み立てキット

WP-3320D-2

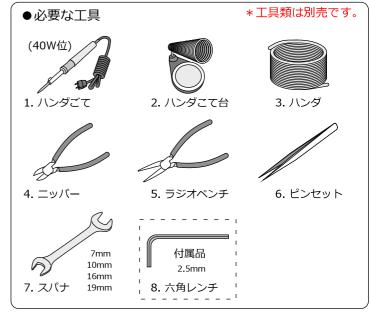
組み立て説明書 Ver.2





もくじ

もくじ・必要な工具・・・・・	•	•	•	• 1
注意事項・・・・・・・・・・	•	•	•	• 2
パーツリスト・・・・・・・	•	•	•	• 3
キットの組み立て・・・・・・	•	•	•	• 4-13
回路図・・・・・・・・・・・	•	•	•	• 14,15
他機器との接続・・・・・・・	•	•	•	• 16
仕様・・・・・・・・・・・				· 17



●必ずお読みください

- *本機はキット商品です。完成時の性能・品質・安全に関するすべてのリスクは組立てた方ご自身 に負っていただくことをご承知ください。
- *上記をご承知いただいた上で、組立ておよび取扱いに関する一般的な注意事項についてご説明い たします。
 - ・組立てが終わり、動作チェックをされるときは、電源を入れる前に、ネジのゆるみ・パーツ の取り付け位置・配線・はんだ付けなどに間違いがないか再度点検してください。
 - ・動作チェック時に異常を感じたら、ただちに電源スイッチを切り、ACプラグをコンセントか ら抜き、コンデンサーが放電するまで(10分以上)待ってからパーツの取付け位置、配線間違 いなどを再度点検してください。
 - ・電源を入れる前に、音量ボリュームを最小にしておいてください。突然大音量が出てスピー カーを壊すことがあります。
 - ・ACプラグをコンセントから抜くときは、コード部分を引っ張らず、必ずプラグ部分を持って 抜いてください。
 - ・パワーアンプの回路には高電圧の部分が多くあります。測定や動作チェックをされるときは 感電にご注意ください。

また、テスターのリード棒でショート事故をおこさないようご注意ください。

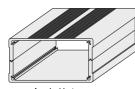
- ・スピーカーやプリアンプなど他の機器と接続するときは必ず電源スイッチを切ってください。 他の機器の取扱い説明書をよく読み、良質で信頼できる接続ケーブルをご使用ください。
- ・シャーシ、パネルなどの金属加工品は、切断面のエッジが鋭くなっている部分があります ので、指などを切らないよう、取扱いには十分ご注意ください。
- ・人がここちよく暮らせる環境でご使用ください。湿気やほこりの多い場所、直射日光の当た る場所、油煙や湯気のあたの場所での使用や保管は避けてください。
- パワーアンプの上には他の器機や物を置かないでください。放熱が妨げられ、火災や故障の 原因になる事があります。

また同様に、本箱など風通しの悪い家具の中に設置したり、テーブルクロスなどで上面を覆っ たりしないでください。

- ・定期的に内部の清掃を行ってください。基板などにホコリが溜まった状態で長期間使用する と、火災や故障の原因になることがあります。
- ・廃棄される場合は、自治体で定められた方法に従ってください。
- *当社は、お客様の特定の目的にかなうことや、他の機器に対して侵害なきことを一切保障するこ とはできません。

またいかなる状況下、法律上、契約上のもとにおいて、間接的、付随的、あるいは結果的に生 じたいかなる種類の損害に対しても一切の責任を負うことはできませんのでご了承ください。

*予告なく仕様やデザインの変更をすることがありますのでご了承ください。



2.フロントパネル



1.本体ケース





5.DCジャック

6 ヒューズBOX



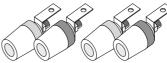




4.アンプ基板ユニット

7 ヒューズ

11.ステレオジャック

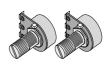




8.スピーカーターミナル(赤/黒)

9.RCAジャック(赤/白)







10.パワースイッチ

12.ボリューム

13.ツマミ



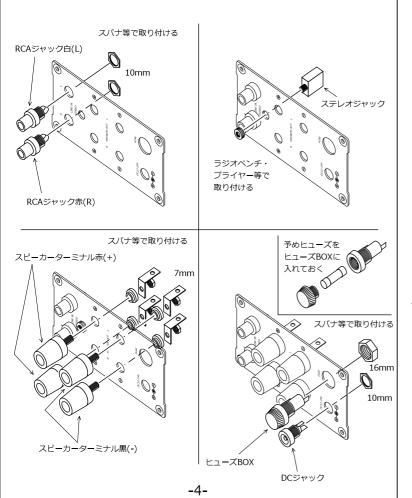


16.配線材パック

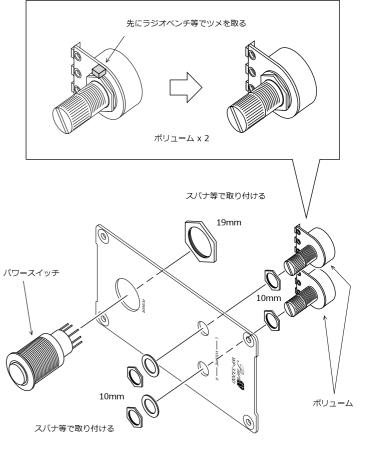
-2-

-3-

1. バックパネルにDCジャック、ヒューズBOX、スピーカーターミナル、RCAジャック、ステレオジャックを取り付けます。

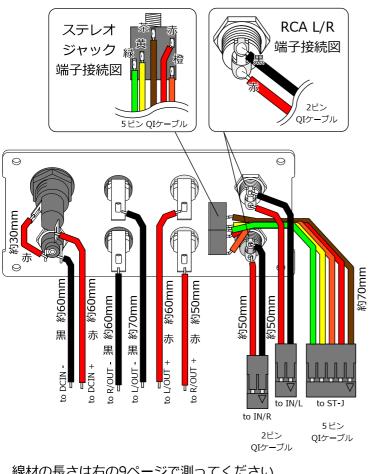


2. フロントパネルにパワースイッチとボリュームを取り付けます。



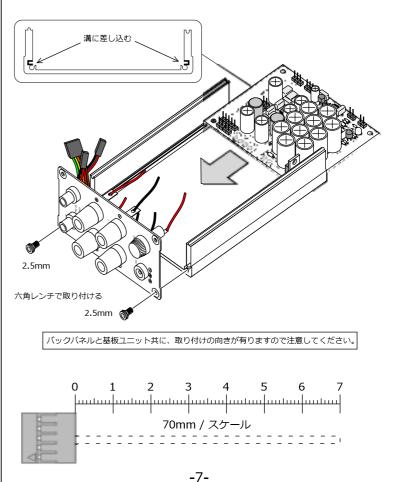
-5-

3. バックパネルのパーツの端子に線材をハンダ付けします。

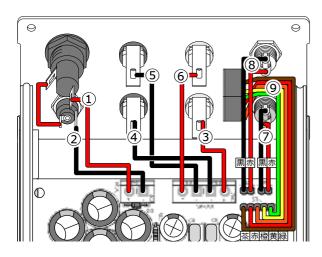


線材の長さは右の9ページで測ってください

4. 本体ケースにバックパネルを取り付け、アンプ基板ユニットを差し 込みます。

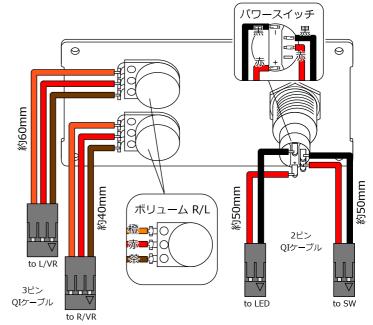


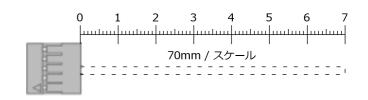
5. バックパネルからの配線をアンプ基板ユニットに接続します。



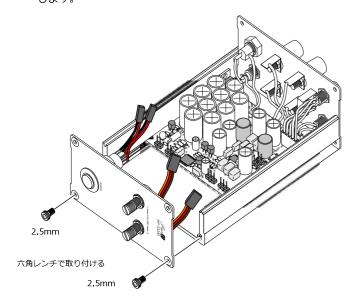
- ①ヒューズからの赤線を DCIN の + にハンダ付けします。
- ②DCジャックからの黒線を DCIN の にハンダ付けします。
- ③スピーカーターミナル R の + からの赤線を R/OUT の + にハンダ付けします。
- ④スピーカーターミナル R の からの黒線を R/OUT の にハンダ付けします。
- ⑤スピーカーターミナル L の からの赤線を L/OUT の にハンダ付けします。
- ⑥スピーカーターミナル L の + からの赤線を L/OUT の + にハンダ付けします。
- ⑦RCAジャック R からの 2 ピンQIケーブルを IN/R (赤線は + 、黒線は)に差し込みます。
- (8)RCAジャック L からの 2 ピンQIケーブルを IN/L (赤線は + 、黒線は)に差し込みます。
- ⑨ステレオジャックからの5ピンQIケーブルを ST-J (茶線は1、赤線は2、橙線は3、黄線は4、 緑線は5)に差し込みます。





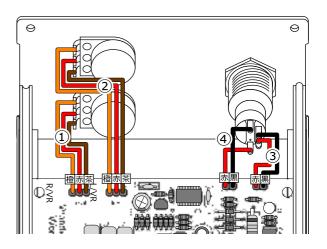


7. 本体ケースにフロントパネルを取り付け、アンプ基板ユニットに配線します。



フロントパネルは、取り付けの向きが有りますので注意してください。

8. フロントパネルからの配線をアンプ基板ユニットに接続します。



①ボリューム R からの 3 ピンQIケーブルを R/VR (茶線は 1 、赤線は 2 、橙線は 3)に 差し込みます。

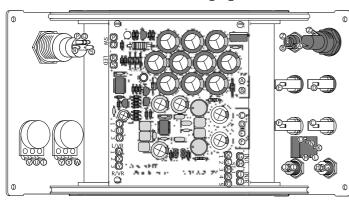
②ボリューム L からの 3 ピンQIケーブルを L/VR (茶線は 1 、赤線は 2 、橙線は 3)に 差し込みます。

③パワースイッチから 2 ピンQIケーブルを SW (方向の指定なし)に差し込みます。

④パワースイッチから 2 ピンQIケーブルを LED (赤線は + 、黒線は -)に差し込みます。

9. 動作と出力の確認をします。

①目視で配線が間違っていないかを確認します。 例: AはAに繋がる



配線を間違えると本体の故障や、接続機器の故障の原因になりますので十分確認して下さい。

- ②両ボリウムは反時計方向に回しきって最小にします。
- ③パワースイッチを「OFF」にしてから、*ACアダプター(別売)のプラグをDCジャックに接続し、ACアダプターをコンセントに接続します。
- ④パワースイッチを「ON」にしてランプが点灯するかを確認します。

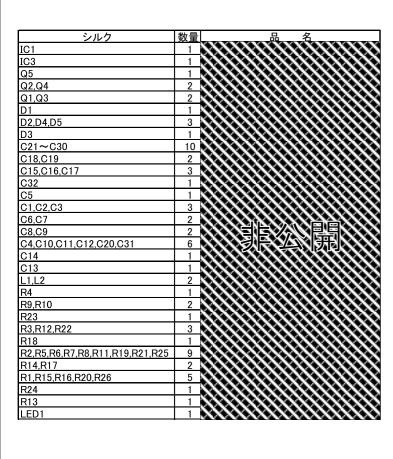
*12V~24Vの5A以下のスイッチング方式 センターブラス ブラグ形状2.1φ (推奨ACアダプター: 共立オリジナルACアダプタ DC24V 1A/ WT-24100)

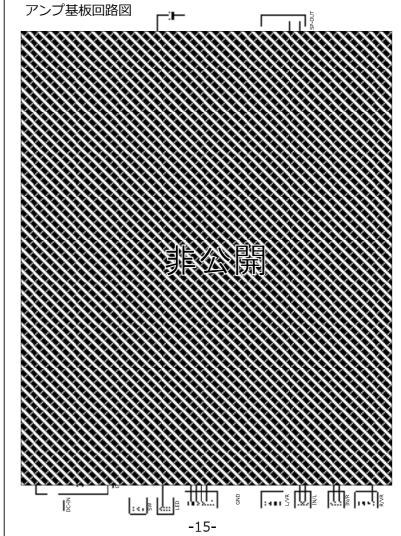
*ACアダプターは別売です。

-12-

10. 本体ケースの片側とツマミとゴム足を取り付け、完成です。 ①本体ケースの片側をかぶせる ②ボルトを4個ネジ止めする 六角レンチで 取り付ける 2.5mm *.* ③ツマミを2個差し込む 2.5mm ④ゴム足を付ければ完成です ツマミのメモリを左右合せる -13-

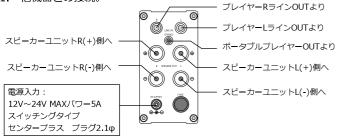
アンプ基板ユニット部品リスト



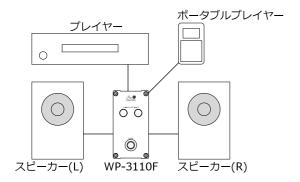


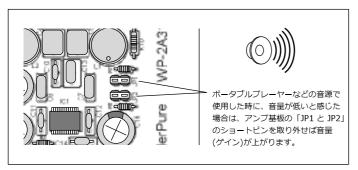
-14-





* 推奨ACアダプター: 共立オリジナルACアダプタ DC24V 1A/ WT-24100







〈主な仕様〉

最大出力 10W+10W(8Ω) 24V1A ACアダプター使用時

RCA入力 1系統 入力

3.5φステレオ 1系統

出力 ターミナルアダプタ 1系統

約700g

外形寸法 55(W)x107(H)x180(D)mm(ツマミ、コネクタ含む)

重量

*ACアダプターは別売です

本製品およびそれらを構成するパーツ類は改良、性能向上のため、 予告なく仕様、外観等を変更する場合があることを予めご了承ください。

製造 • 販売元

共立電子産業株式会社 ワンダーキットプロダクツ 〒556-0005 大阪市浪速区日本橋西5-8-26 TEL(06)6644-4447 FAX(06)6644-4448 http://pure.kyohritsu.com/